

一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍専門医制度(経過措置)の申請に関して

一般社団法人日本家族性腫瘍学会は腫瘍学と遺伝学に精通し、家族性腫瘍に関する適切な医療を推進できる優秀な人材の養成、家族性腫瘍に関する知識の普及と医療活動の向上、以って国民の福祉への貢献を目的に、家族性腫瘍専門医を認定する。

家族性腫瘍専門医・FCC 制度委員会（以下、制度委員会）では、本専門医制度の開始に際して、下記の通り 4 年間のみ適用される経過措置の資格にて申請を受け付ける。

1. 家族性腫瘍専門医制度（経過措置）の申請対象となる基本領域学会専門医

制度委員会が認める基本領域学会専門医（日本内科学会，日本小児科学会，日本皮膚科学会，日本精神神経学会，日本外科学会，日本整形外科学会，日本産科婦人科学会，日本眼科学会，日本耳鼻咽喉科学会，日本泌尿器科学会，日本脳神経外科学会，日本医学放射線学会，日本麻酔学会，日本病理学会，日本臨床検査医学会，日本救急医学会，日本形成外科学会，日本リハビリテーション医学会），および日本内科学会認定内科医、日本外科学会認定登録医。

2. 経過措置としての申請資格が適用される期間

2017 年度より 2020 年度まで 4 年間。

3. 経過措置としての申請資格

- (1) 継続して 1 年以上、日本家族性腫瘍学会の会員である者。
- (2) 家族性腫瘍の臨床に関連した 10 例以上の症例を担当もしくは陪席すること。
(経験症例概要計 10 例、うち詳記 3 例を提出する。)
- (3) 日本家族性腫瘍学会学術集会に計 2 回以上出席しなくてはならない。学術集会出席に、日本家族性腫瘍学会所属の有無は問わない。
- (4) 申請時から遡って過去 5 年間に、家族性腫瘍に関連した論文（総説を含む）を 1 編以上、誌上发表すること。共著者も含む。
(申請時から遡って過去 5 年間に、学術集会での家族性腫瘍に関連した演題発表は、計 2 回を誌上发表 1 編と見なすことができる。共同演者も含む。)
家族性腫瘍に関連した論文は、「総説」、「原著論文」、「症例報告」、「本の分担執筆」などを含み、掲載誌は、原則として「PubMed」、「医学中央雑誌」、「J-STAGE」で検索可能なもので、かつ、制度委員会の審査によって適当であると認められたものとする。

4. 家族性腫瘍専門医（経過措置）の申請手続

経過措置としての申請資格により専門医試験の申請を希望する者は、次の各号に掲げる書類に所定の手数料を添えて、制度委員会に提出しなければならない。

- (1) 家族性腫瘍専門医認定（経過措置）申請書
- (2) 履歴書
- (3) 医師免許証の写し
- (4) 家族性腫瘍専門医の対象となる各科専門医認定証の写し
- (5) 家族性腫瘍の臨床に関連した経験症例概要計 10 例、うち詳記 3 例
- (6) 日本家族性腫瘍学会学術集会の参加証、2 回分の写し
- (7) 家族性腫瘍に関連した論文 1 編の写し

5. 家族性腫瘍専門医の認定について

制度委員会において審議し、家族性腫瘍専門医としてふさわしいと認めた者を日本家族性腫瘍学会理事会に推薦し、日本家族性腫瘍学会理事長が家族性腫瘍専門医に認定する。

6. 家族性腫瘍専門医認定等に必要な手数料

家族性腫瘍専門医の認定等に要する費用は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 家族性腫瘍専門医認定試験受験料 30,000 円
- (2) 家族性腫瘍専門医認定手数料 10,000 円（5 年間分）

*一旦受領した費用は返還しない。

7. 2017年の試験申請受付期間・試験日程・試験会場

- ・申請受付期間：2017年6月1日（月）～ 2017年8月31日（木）
- ・試験日程：筆記試験・面接試験 2017年11月26日（日）
- ・試験会場：一橋講堂会議室

住 所： 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

電 話： 03-4212-3900 《受付時間：平日の 9 時から 17 時まで》

FAX ： 03-4212-3910

E-mail：yoyakukanri@hitotsubashi-hall.jp

HP ：<http://www.hit-u.ac.jp/hall/>

8. 筆記試験・面接試験の合格有効期限

筆記試験と面接試験のどちらか一方が合格し、他方が不合格だった場合、合格した方の試験は 2 年間（翌年・翌々年まで）、再試験を免除される。

附則

2017 年 4 月 26 日 制定